

保護者様

令和4年9月28日

川島ひばりが丘特別支援学校長 恵賀 正治

コロナ禍における合唱と調理実習の再開について

仲秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度の本校の学校運営方針は、感染防止対策を徹底しながら学習活動を昨年度以上に前進させることにあります。本校では、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和2年度より、埼玉県教育委員会が策定した「県立学校版 新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」(以下、ガイドラインと記す)に基づき、学校医や専門家等にご意見を伺いながら、学習内容ごとに感染防止対策を作成し、「新しい学習環境づくり」としてまとめ、学習活動を行ってまいりました。また、この間県のガイドラインが更新され、中止していた学習活動の再開が示された際は、本校の現状を踏まえて本校版の「新しい学習環境づくり」を更新し、段階的に学習活動を再開してまいりました。(令和4年度は、3年ぶりにプール指導や宿泊学習を再開)。

「合唱と調理実習」につきましては、飛沫感染防止の観点から中止を継続しておりましたが、今年度に入り学校全体で慎重に検討を重ねた結果、感染対策と実施内容を以下のようにまとめました。再開時期は後期が始まる10月4日(火)からとさせていただきます。コロナ禍で積み重ねた知見を結集し、万全な感染対策を講じた上で実施してまいりますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。なお、この件につきましてご心配やご不明な点がある場合は、担任までご連絡ください。

(令和4年度 川島ひばりが丘特別支援学校版「新しい学習環境づくり」(令和4年4月7日発行)は本校のホームページより閲覧可能です。また、今後以下の内容を更新した「新しい学習環境づくり」を作成し、ホームページに掲載する予定です。)

《 合唱について 》

- 1 児童生徒間の距離を確保する
 - ①マスクを着用できる児童生徒の場合 : 他の児童生徒との距離は前後左右1 m以上あける。
 - ②マスクを着用できない児童生徒の場合 : 他の児童生徒との距離を前後左右2 m以上あける。
- 2 常時換気を行う
- 3 対面にならないようにする
- 4 他グループと交わらないようにする。
(宿泊学習等、学年で行動する場合は、他グループを学年と読み替える)
- 5 (可能な範囲で)なるべく広い場所で行う。
- 6 声量は、児童生徒・教員ともに、口ずさむ程度にする。

《 調理実習について 》

- 1 児童生徒は、自分で食べるものを自分で調理する。
(教員は、マスク・エプロン・三角巾を着用し、手指消毒を徹底する等の感染対策をしているので複数の児童生徒への対応を可能とする)
- 2 児童生徒間の距離を確保する。
 - ①マスクを着用できる児童生徒の場合 : 他の児童生徒との距離は前後左右 1 m以上 あげる。
 - ②マスクを着用できない児童生徒の場合 : 他の児童生徒との距離を前後左右 2 m以上 あげる。
- 3 調理器具や道具は一人ずつ使用する。使いまわさない。
- 4 手指衛生について : 調理前、鼻汁・唾液が触れる際、食事前、その他必要時手洗いやアルコール消毒を行う。

以下、令和4年度 川島ひばりが丘特別支援学校版「新しい学習環境づくり」より抜粋

《 基本的な感染症対策・環境整備 》

- 1 「3密 (密集・密閉・密接)」とならないように活動場所や内容を工夫する。
- 2 エアコンや床暖房を適切に利用することで、室内温度を保ちつつ、定期的な換気により教室内の環境を整える。
- 3 日常的に教室等のふき掃除をして清潔を保つとともに、唾液等の付着があった場合や共用教材を使用した後は、速やかにアルコール消毒を行う。
- 4 バスエントランス等、児童生徒が共用する部位については、児童生徒下校後アルコール消毒を行う。
- 5 登下校時の検温の実施、健康チェック票の記入と確認等により、体調不良の早期発見に努める。
- 6 マスクやフェイスシールドの着用により、飛沫感染リスクの低減を図る。
- 7 指導中は不織布マスクを着用し (必要に応じて交換する)、衛生状態を保持する。
- 8 日常的な手洗いの徹底により、接触感染リスクの低減を図る。

《 学習活動 》

教室の空間を確保することと、人の出入りを限定することで万一の感染リスクを避けつつ、学習活動の充実を図るために、学習内容や学習集団について検討する。

- 1 必要に応じて、感染対策を講じつつ学年活動や他グループとの合同学習を計画する。
- 2 児童生徒が密集したり密接になったりしないような内容で計画する。
- 3 実施の際には、児童生徒がお互いに一定の距離を保てるような空間を用意する。
- 4 万一の感染の際に、感染経路や感染範囲が明らかになるよう、活動集団や内容についての記録を残す。
- 5 感染を疑わせるような体調不良者が出た場合には、直前であっても学習内容を変更し、接触者を限定した形で対応する。